

北陸新幹線若狭ルート整備に関する意見書

北陸新幹線は、国土計画上の観点から重要な国家プロジェクトであり、福井県の均衡ある発展と北陸、関西の一体的な振興を図るうえで欠くことのできないものである。

昨年末、政府から整備新幹線の未着工区間について、整備の意義を十分検証し、着工の優先順位付けを検討、夏までに結論を目指す方針が示されたが、未だ、判断されていない状況である。

本年8月27日に発表された（国土交通省の）平成23年度概算要求では、新規着工は盛り込まれず、「未着工区間については、整備新幹線問題検討会議等における検討結果を踏まえ、適切に対応する。」こととされ、同日、同検討会議から、北陸新幹線についての今後の検討課題として「白山総合車両基地・敦賀だけでなく敦賀以西の整備のあり方」が示されたところである。

そもそも、敦賀以西のルートに関しては、昭和48年に北陸新幹線は、「小浜市付近を通り大阪まで」と若狭ルートが閣議決定されており、本ルートは東海道新幹線の代替補完機能を有するとともに、北陸地域をはじめとする日本海沿岸地域と関西圏との連携強化はもとより、国土の均衡ある発展、産業、経済、文化等の活性化に大きく貢献するものである。

本市としては、昭和48年の整備計画どおり、若狭ルートによる早期整備を一貫して国、県および関係機関へ要望してきたところである。

よって、次のことについて要望する。

- 1 昭和48年に閣議決定された整備計画（「若狭ルート」）どおり、大阪までの全線の整備方針を早期に策定すること。
- 2 全線フル規格により整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年 9月24日

小 浜 市 議 会